

## 言語分野

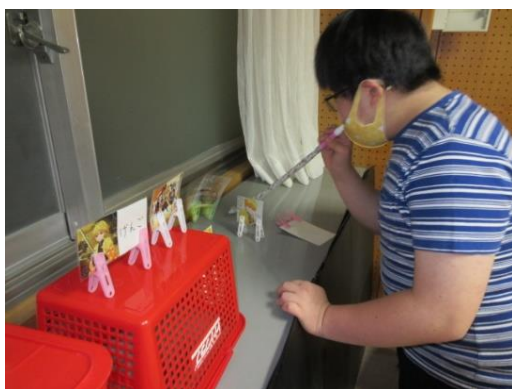
☆今回は、呼気のコントロールの練習方法を紹介します。

【自立活動の指導内容】コミュニケーション（１）コミュニケーションの基礎的能力に関すること

人は何気なく言葉を発していますが、息を吸ったり吹いたりする力が大きく関係しています。そこで、息を吸ったり吹いたりする力を鍛えるための練習方法を紹介したいと思います。

\*息を吹く練習

〈巻き笛〉



言語指導で使用する巻き笛は、先に穴が開いているためたくさん息を吸って吹き込まないと、巻き笛が伸びません。レベル0（ティッシュペーパーを吹いて揺らす程度）からレベル2（風船を膨らます程度）まであります。写真は、巻き笛を伸ばして倒しをしているところです。

〈トーキングトレーナー〉

昔のファミコンのような機械にマイクを接続して、声量の調節練習や発声の持続練習など、目的に応じて練習することができます。声を出すと車が前進したり、ロケットを動かして風船を割ったり、楽しみながら取り組んでいます。



## \*息を吸う練習

〈ストロー紙運び〉



口をすぼめてストローをくわえます。ストローの先端で紙を吸い上げ、離れた所に紙を運びます。運んでいる間は、息を吸い続けなければ紙が落ちてしまいます。慣れてきたら、紙の大きさや材質を変えてだんだん重くすることで、吸う力を鍛えることができます。